

資料No.5-1

江田島市公共交通協議会
平成27年5月13日

平成27年度江田島市公共交通協議会事業計画（案）

1 目的

江田島市の公共交通を「つくり、守り、育てます」を基本方針として、「持続可能な公共交通体系」を再構築する。海上交通（航路）を基軸として、陸上交通（バス、おれんじ号など）と一体的かつ体系的に見直しを図る。

また、地域公共交通網形成計画を策定し、地域にとって最適な公共交通ネットワークを再構築するための指針を定める。

なお、各事業の実施に当たっては、民間活力を活かしながら市が適切に関与する。

2 公共交通協議会について

市民ニーズを尊重しながら、地域や事業者、行政などの実情に即した公共交通サービスを展開するため、随時、公共交通協議会を開催する。

また、必要に応じて、陸上分科会や海上分科会などを開催し、事前の協議を行う。

3 陸上交通について

① おれんじ号の運行委託

江田島北部線・沖美北部線・沖美南部線のおれんじ号、大須朝夕便の運行委託を行う。

運行実績などに基づき陸上分科会や公共交通協議会で協議を行ない、運行基準に応じた見直しを行う。

② 江田島バスとの連携

江田島バスに対しては、住民ニーズを適切に反映するとともに、海上交通との円滑な連携が図れるよう、情報提供等を行っていく。

③ 交通空白不便地域対策

バス路線の変更などによる交通空白不便地域については、交通手段確保が必要と判断する場合は、地域の特性や利用者予測などに基づき、対応を協議する。

4 海上交通について

① 安定的な航路サービスの提供

市全体における望ましい航路運営体制の構築・維持確保に向けて、安定的な航路サービスの提供に必要な対応や協議を行う。

② 航路利用促進

航路利用の促進を図るため、海上分科会での協議結果を踏まえた取組を実施する。

5 地域公共交通網形成計画策定準備

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）の一部改正に伴い、地域公共交通網形成計画を策定する。

6 インターネットなどによる情報提供

バス路線の時刻・料金表などを含む路線検索ホームページの運営管理や運航休止情報などのメール配信により、利用者の利便性向上を図る。

また、市広報紙などを活用して、お盆や年末年始ダイヤの周知を図る。

7 早瀬大橋交通量調査業務

江田島市で唯一、陸路で本土と繋がる早瀬大橋断面における自動車交通量を調査し、経年変化や第二音戸大橋架橋等の影響を把握する。

8 その他

その他公共交通協議会が必要と認めた事業を実施する。

資料No.5-2

江田島市公共交通協議会

平成27年5月13日

平成27年度 江田島市公共交通協議会歳入歳出予算（案）

平成27年度江田島市公共交通協議会の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ32,859千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

（歳出予算の流用）

第2条 歳出予算の款相互の金額は、必要に応じて流用することができる。

平成27年5月13日

江田島市公共交通協議会

会長 土手 三生

第1表 歳入歳出予算

1 歳入

（単位：千円）

科目			予算額	説明
款	項	目		
			26,716	
1 負担金	1 負担金		26,716	市負担金
		1 負担金	26,716	
			2,478	
2 繰越金	1 繰越金		2,478	繰越金
		1 繰越金	2,478	
			3,664	
3 補助金	1 国庫補助金		3,664	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (国土交通省)
		1 国庫補助金	3,664	
			1	
4 諸収入	1 諸収入		1	預金利子
		1 雑入	1	
歳入合計			32,859	

2 歳出

（単位：千円）

科目			予算額	説明
款	項	目		
			790	
1 運営費	1 会議費		714	協議会委員報償金, 費用弁償ほか
		1 会議費	714	
	2 事務費		76	振込手数料, 需用費, 郵便料ほか
		1 事務費	76	
			32,068	
2 事業費	1 事業費		32,068	おれんじ号運行関連費 17,549千円 地域公共交通網形成計画策定費 13,071千円 公共交通シンポジウム開催費 584千円 年末年始ダイヤ広報紙掲載 108千円 国道487号線交通量調査 540千円 インターネット等による情報提供 216千円
			32,068	
			32,068	
			32,068	
			1	
3 予備費	1 予備費		1	
		1 予備費	1	
歳出合計			32,859	

